

SNSの落とし穴

表示広告に注意

(2016年9月13日掲載原稿)

インターネットの急速な普及に伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が新たなコミュニケーションツールとして利用されるようになりました。

SNSとは、自己のプロフィールを登録・公開することで、インターネット上で友人・知人等とつながり、交流できるウェブサイト・サービスのことです。SNSに関連した相談は年々増えており、トラブルにつながる思わぬ落とし穴に注意が必要です。

「SNS上で、ブランド品サングラスの格安広告を見て注文したが、注文した商品とは違う物が届いた」という相談がありました。相談者が購入したサイトのURLを確認すると、デザインが本物そっくりの偽サイトでした。

SNSでは、たくさんの方が情報発信していますが、すべてが信用できる情報とは限りません。友達申請やメッセージを利用して、悪質サイトに誘導される被害に遭うこともあります。

SNS上に表示される広告をきっかけにしたトラブルを避けるためにも、「大手SNSに表示される広告だから、リンク先も安心できるサイトだろう」といった思い込みをせず、リンク先のサイトの表示や利用規約をよく確認するようにしましょう。

また、自分のアカウントが乗っ取られると、自分になりすました第三者が他の友達や利用者に迷惑をかけたり、悪質サイトの広告を大量に出す恐れがあります。なりすまし予防のために、パスワードの使い回しはやめ、設定を確認しましょう。

なりすましが発覚した場合は、すぐにSNSサイト運営者に通報してください。トラブルに巻き込まれないよう、情報発信元の信頼性を意識し、有効に利用しましょう。